



辰年生まれの子どもたちが語る

# 『ぼくの夢、わたしの夢、がんばりたいこと』

平成24年は、辰年。「広報きたあきた」では、新年号特集として、辰年生まれの子どもたちに夢やがんばりたいことを語ってもらいました。子どもたちは、平成12年生まれで市内の各小学校に通う児童15人です。  
輝かしい新年を迎え、はじめての年男・年女として語る、子どもたちの希望あふれる夢や目標をお聞きください。



柴田 彩冬  
さいと さいと  
しばた さいと  
平成12年12月生  
浦田小5年

## ぼくの夢

ぼくは大人になったら、車の整備士になりたいと思っています。そう考えるようになった理由は、お父さんが前田で整備士として働いているからです。  
お父さんが働いているところがカッコいいなと思ったことがたくさんありますが、その中の二つを

しようかいます。  
一つ目は、てきばきすばやく車を直すところです。ぼくは、それを見て「プロだな。うちでいるのとちがつてカッコいいな。」と思いました。ぼくも車が好きなのであんなふうになりたいと思いました。  
二つ目は、真冬の白神山地にシヨベルカーを直しに行ったことです。カチンコチンになったのをちやんと動けるようにしたのがすごかった。カッコいいなと思いました。  
ぼくもお父さんみたいな整備士になれるように、勉強や運動をがんばりたいです。



藤田 由利愛  
ふじた ゆりあ  
ふじた ゆりあ  
平成12年9月生  
合川北小5年

## パティシエになりたい

わたしの将来の夢は、パティシエになることです。  
なぜかという、わたしが初めてお菓子をつくったとき、いっしょだったグループの友だちに、「上手だね。」と言われたことがとてもうれしかったからです。  
また、テレビを見て、パティシエ

工の人たちのように、おいしそうなお菓子を作りたいと思ったからです。  
まだ大人にはかなわないけれど、この冬休みも、たくさん家でお菓子作りの練習をして、お母さんにほめられるようなお菓子を作りたいです。  
大人になって、もし、夢がかなったら、おじいさん、おばあさんや子どもたちに安心して食べてもらえるようなお菓子を作りたいです。そして今よりも、もっとおいしいお菓子を作ってみるのを幸せな気持ちにさせたいです。



金田 健仁  
かねた かつひと  
かねた かつひと  
平成12年9月生  
合川西小5年

## 夢に向かって

ぼくの将来の夢は、警察官になることです。刑事ドラマを見ていて、犯人を追ったり事件を解決したりしている姿がかっこいいと思うからです。小学校生活最後の一年は、夢の実現に向けて、今まであまりやっていなかったことにチャレンジしたいと思います。

一つ目は、運動です。休みに、外や体育館で進んで体を動かし、かぜに負けないようぶな体で欠席0を目指したいです。  
二つ目は、協力です。今までは自分のことで精いっぱい、あまり周りの気にしてきませんでした。だから、低学年の人にやさしくしたり、悪いことをしている人には進んで注意したりしたいと思っています。また、部活動やクラブ、委員会などで先に立つことが多くなるので、最上級生として下級生のお手本となるような行動をし、一番かがやける年にしたいです。



松浦 大輔  
まつうら だいすけ  
まつうら だいすけ  
平成12年12月生  
前田小5年

## 将来の夢

ぼくの将来の夢は、プロ野球選手になることです。それは、野球部の練習をしていて、ボールを打ったり取ったり投げたりするのが楽しいし、巨人の坂本選手や日本ハムのダルビッシュ投手のようなカッコいいプレーができるようになりたいからです。

ぼくが一番得意なのは、打つことです。春はまったく打てなかったのですが、あきらめないで毎日練習しているうちに、だんだん打てるようになってきました。次に得意なのは守備です。でも、球を取ってから投げるまでのスピードがおそいので、そこを直してもっとうまくなりたいです。それから、盗塁など走るのも好きだけど、もっと足を速くして、プロになったら打率、打点、ホームランの三冠王になつてみたいです。だから、つらくてもあきらめないで練習して、いい選手になりたいです。



大川 央人  
おおかわ ひろひと  
おおかわ ひろひと  
平成12年8月生  
米内沢小5年

## 将来の夢

ぼくの将来の夢は、プロ野球選手になることです。小さいころに兄と父のキャッチボールを見たり、テレビのプロ野球を見たりして、カッコいいなあと考えたからです。  
ぼく自身は、三年生から始めました。最初は球拾いなどをがんばり、練習もほとんどかかさずに行きま

した。その結果、四年生では学童野球大会でベンチ入りでき、新人戦にもレギュラーで出場することができました。五年生になるまできびしい練習を重ねてきて学童野球大会や、J.A大会で優勝することもできてとてもうれしかったです。  
来年は六年生なので、キャプテンとしてチームをまとめて、優勝を勝ち取りたいです。そして、巨人の小笠原道大選手のようなミスの少ないプロ野球選手になり、世界中の人たちに夢と希望を与えたいです。



高杉 優衣  
たかすぎ ゆい  
たかすぎ ゆい  
平成12年7月生  
合川東小5年

## わたしの夢

わたしの夢は、看護師です。なりたいと思ったきっかけは、わたしのおばさんが東京で看護師をしていたからです。おばさんは東京の大病院で働いています。その姿を見ているうちに、看護師になりたいという夢がふくらんできたのです。そんな夢をもったわたしは、

ある日1冊の本と出会いました。その本の中に「看護師というのは、人の命を預かっているのだ」という文がありました。それを見て、わたしも1人でも多く人の命を助けてあげたいと思うようになりました。そして、看護師になりたいという夢はますます大きくなりました。  
夢を実現するためには、勉強をがんばらなくてはなりません。将来、夢を実現させるために学校の勉強をしっかりがんばりたいと思います。必ず夢を実現させ、1人でも多くの人の命を助けてあげたいと強く思っています。



三浦 基輝  
みうら もとあき  
みうら もとあき  
平成12年11月生  
合川南小5年

## 6年生になってがんばりたいこと

ぼくは、新しい年に向けてがんばりたいことが二つあります。  
一つ目は学校が統合になり人数が増えるので、これまで以上に学校での生活態度をしっかりしたいです。勉強も新しい気持ちでがんばりたいです。合川小学校では教室やろうか、特別教室もはやく体

で慣れるようにしたいです。  
二つ目は西小みんなの名前を早く覚えてたくさん友達を作ることです。  
これまで西小と南小で「宿泊体験学習」や「なべっこ」「GAO見学」「収穫祭」などの交流してきましたが、同じ学年やグループの人とは名前も顔も分かりませんが、全校の友達とは話をしているから、たたくさん話や遊びながら、もっともつとなかよくできるようにしたいです。新6年生になる楽しみと少し緊張した気持ちで新しい年を過ごしたいと思います。